



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 459号

2013. 2. 8
毎月1回発行

発行責任者
岸田 義典

目次

2013

1月号

- EIMA 視察 2
国際農業機械化研究会理事 岸田義典
- サブサハラにおける農業機械化
—よりよき明日のために— 14
独立行政法人国際協力機構 国際協力専門員
時田邦浩
- 国別輸出入 (2012年11月) 25
- WORLD NEWS 30
- EVENTS CALENDER 31



国際農機機械化研究会理事
 (株新農林社 代表取締役社長)
 岸田義典

国際農業機械化研究会は、(株新農林社と共催で、第 460 回海外農機事情報告会を平成 25 年 1 月 18 日(金)に開催した。講師は、国際農業機械化研究会理事長(株新農林社 代表取締役社長) 岸田義典。岸田氏は、2012 年 11 月 7 日～11 日にかけてイタリアのボローニャで開かれた「EIMA」を視察。その視察の様子を映像と共に報告した。

要旨は以下の通りである。

EIMA について

昨年 11 月 7～11 日の 5 日間にイタリアのボローニャで開かれた EIMA についてお話しします。

UNACOMA (イタリア農業機械工業会) 主催の EIMA は、国際的な農業機械展示会で、少し前までは毎年開かれていました。同じく、秋にドイツでアグリテクニカという大きな展示会があり、こちらは以前から二年に一回の開催でした。それが、EIMA と同時期に行われるので、メーカーの展示経費の件もあり、アグリテクニカと EIMA を交互に開催する年は EIMA を開催しないというルールが設けられました。よって、昨年は EIMA が行われ、今年は、ドイツでアグリテクニカが開催されます。

春にも同じようなことがあり、フランスのパリで開催される SIMA という農業展示会とイタリアのベローナで開催される国際農業博覧会が、隔年で交互にやることになりました。

今年は春に SIMA があり、秋にはアグリテクニカがあります。来年は春にベローナ博覧会があつて、秋に EIMA があります。ヨーロッパの農業展示会では、この 4 つが大きな展示会です。

少しローカルになりますが、国際農業展示会として FIMA がスペインのサラゴサで 4 月にあります。東ヨーロッパでは、ロシアのモスクワで、10 月の

ゴールデンオータム (黄金の秋) という週間に、農業機械の展示会を開催しています。

ビジネス分野での参加者 22% 増 (UNACOMA 調べ/対 2010 年)

会場総面積 27 万㎡、総展示面積 14 万㎡の会場で開催されました。膨大な面積で、5 日あつても全部まわるのは至難の業でした。同時期にボローニャクラブという会議が毎年あります。世界中の農業機械のエキスパートが集まって様々なテーマをもとにディスカッションする会議です。私もボローニャクラブの MC (マネジメントコミッティ) のメンバーで、ボローニャクラブの MC 会議、本会議などに出ています。それに 2 日取られてしまい、実際に展示会を見られたのは 3 日半くらいです。やはり、時間が足りませんでした。受賞製品も実際に見られなかったものもあります。

総出展社数は 1,750 社。イタリアから 1,192 社、その他海外からは 40 カ国 558 社の参加がありました。新興国からも活発な参加が見られ、中国は 83 社、トルコが 82 社、インドが 26 社でした。また、近隣ヨーロッパでは、ドイツが 57 社、スペインが 55 社、続いてフランスから 47 社の参加がありました。参加企業としてはコンポーネント・パーツ部門が最も多く、500 社の企業が参加しました。車軸、